

日付	時限	内 容
----	----	-----

4月3日 4 重症病態・ショック

G I O : ショックの病態生理を理解し、ベッドサイドにおいて適切な診断、初期診察の基礎を履修する。

- SB0 :
1. ショックの定義を説明できる。
  2. ショックの分類と病態生理を説明できる。
  3. 各分類の代表的疾患と特徴的な身体所見、検査所見が説明できる。
  4. ショック患者に対する初期対応が説明できる。

日付	時限	内 容
----	----	-----

4月5日 3 外傷総論

G I O : 外傷が生体に及ぼす影響とこれに対する対処を理解する。

- SB0 :
1. 生体侵襲について説明できる。
  2. 生体の恒常性維持について説明できる。
  3. 外傷などの侵襲が生体に及ぼす影響を説明できる。
  4. 外傷初期治療について説明できる。

日付	時限	内 容
----	----	-----

4月9日 1 輸血

G I O : 血液製剤を適切に使用するために、輸血療法について学ぶ。

- SB0 :
1. 輸血時のスクリーニング検査、輸血副作用および合併症について説明できる。
  2. 赤血球製剤の適正使用について説明できる。
  3. 血小板製剤の適正使用について説明できる。
  4. 凍結血漿の適正使用について説明できる。
  5. アルブミン製剤の適正使用について説明できる。

日付	時限	内 容
----	----	-----

4月10日 4 救急処置法

G I O : 病院前や院内の救急患者に対して行う救急処置法には、非医療従事者でも行える応急処置や一次救命処置、医療従事者が行う二次救命処置まで幅広いが、その概要を理解し実技の必須の知識を修得する。

- SB0 :
1. 応急処置法の種類と内容を説明できる。
  2. 一次救命処置法、二次救命処置法の定義と適応について説明できる。
  3. 静脈路確保法、導尿法の種類と適応について説明できる。
  4. 穿刺法（腰椎、胸腔、心嚢、腹腔）胃管について説明できる。
  5. 圧迫止血法、切開、排膿法、包帯法、副子固定法について説明できる。

日付	時限	内 容
----	----	-----

4月12日 3 心肺脳蘇生

G I O : 心肺停止の主な原因を理解して、心肺脳蘇生のために重要な事柄を説明できる。

- SB0 :
1. 心肺停止の主たる原因を列挙できる。
  2. 心室細動の病態を説明できる。
  3. 胸骨圧迫の重要性を説明できる。
  4. 過換気を避けることの意義を説明できる。
  5. 心室細動に対する早期の電氣的除細動がなぜ必要かを説明できる。

4月16日	1	頭痛と緊急手術の適応
-------	---	------------

G I O : 緊急手術が必要となる頭痛の鑑別診断と手術適応を理解する。

- S B O :
1. 脳卒中を正しく理解する。
  2. くも膜下出血の診断、治療法を理解する。
  3. 脳卒中（脳出血、脳梗塞）の診断、治療法を理解する。
  4. 手術適応となる頭部外傷と慢性硬膜下血腫を理解する。
  5. SU（ストロークユニット）、SCU（ストロークケアユニット）と急性期リハビリテーションの実際を理解する。

4月17日	4	救急医療体制
-------	---	--------

G I O : わが国の救急医療体制に関して、病院前搬送から病院診療にいたる仕組みの歴史、現状を理解して、臨床医として現場で適切に活動できるようになるための基礎的な素養を修得する。

- S B O :
1. 昭和39年の救急病院、診療所告示制度以来の初期の体制、昭和52年の初期、二次、三次救急医療体制、昭和62年に改正された急病者を搬送する告示制度を説明できる。
  2. 救急患者のたらい回し、救急車搬送件数の増加、軽症患者割合の増加のような搬送上の問題点、夜間急患の問題を説明できる。
  3. 救命救急センター、ドクターカー、ドクターヘリに関して説明できる。
  4. 救急救命士、メディカルコントロールに関してその役割と業務を説明できる。
  5. 聖マリアンナ医科大学の川崎市救急医療体制における位置づけ、新しい救急医療提供のあり方としてERを理解する。

4月19日	3	麻酔学総論
-------	---	-------

G I O : 麻酔の概念と各種麻酔法について学ぶ。

- S B O :
1. 麻酔の概念を説明できる。
  2. 各種麻酔法を概説できる。
    - (1) 全身麻酔と広義の局所麻酔を説明できる。
    - (2) 狭義の局所麻酔を、解剖と結び付けて説明できる。
  3. 各種麻酔に用いる代表的な薬剤の種類を説明できる。
    - (1) 全身麻酔に用いる薬剤
    - (2) 局所麻酔に用いる薬剤
  4. 実際の全身麻酔の手順を概説できる。

4月23日	1	侵襲に対する生体の反応と麻酔管理
-------	---	------------------

G I O : 手術等の侵襲が加わった際の生体反応を学ぶ。

- S B O :
1. 痛覚伝導路を概説できる。
  2. 生体に侵襲が加わった際の以下の反応と生体への影響を概説できる。
    - (1) 交感神経系の反応
    - (2) 内分泌反応
    - (3) 循環器系への影響
    - (4) 代謝系への反応
  3. 周術期の生体における反応を総合的に概説できる。
  4. 侵襲に対する生体の反応を考慮した麻酔法を概説できる。

4月24日	4	麻酔前の患者評価と手術の安全
-------	---	----------------

G I O : 安全に手術を行うには何が必要かを学ぶ。

- SB0 :
1. 周術期麻酔関連偶発症における以下の項目を説明できる。
    - (1) 死亡原因と死亡率
    - (2) 周術期偶発症の原因と発症率
  2. WHOの安全な手術のためのチェックリストを説明できる。
  3. 以下を説明できる。
    - (1) 術前の経口摂取制限
    - (2) 合併症のある患者の評価の基本
    - (3) 重症アレルギーが疑われる患者の評価と対策

4月26日	3	胸部外傷
-------	---	------

G I O : 胸部外傷の特徴とそれに対する治療を理解する。

- SB0 :
1. 外傷の中で胸部外傷の特徴を説明できる。
  2. 胸部外傷が生体に及ぼす特徴的傷害を説明できる。
  3. 個々の胸部外傷についてその病態の特徴を説明できる。
  4. 個々の胸部外傷について、夫々の病態に基づいた治療法の選択を説明できる。
  5. 胸部外傷と他臓器損傷との関係について説明できる。

5月7日	1	救急疾患と内視鏡（上部・下部消化管）
------	---	--------------------

G I O : 緊急内視鏡を必要とする病態を理解する。

- SB0 :
1. 内視鏡の構造を説明できる。
  2. 緊急上部内視鏡検査が必要な疾患を列挙できる。
  3. 緊急下部内視鏡検査が必要な疾患を列挙できる。
  4. 緊急止血法を説明できる。

5月8日	4	局所麻酔
------	---	------

G I O : 局所麻酔法と局所麻酔薬について学ぶ。

- SB0 :
1. 局所麻酔法の特徴
  2. 局所麻酔法の分類
  3. 局所麻酔薬の代謝と排泄
  4. 合併症

5月10日	3	脳死とその判定基準
-------	---	-----------

G I O : 日本における脳死下臓器提供の現状と、法的脳死判定マニュアルを正しく理解する。

- SB0 :
1. 脳死を生理学的、解剖学的に正しく理解し、「臨床的脳死」、「法的脳死」を説明できる。
  2. 大学病院、救命救急センターの役割と脳死判定医の資格条件を理解する。
  3. 脳死判定基準の根幹とその問題点、ピットフォールを理解する。
  4. 「臓器の移植に関する法律」（通称 臓器移植法）を理解する。
  5. 脳死下臓器提供反対論を理解する。

5月14日	1	吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌
-------	---	-----------------

G I O : 吸入麻酔薬と静脈麻酔薬の種類と特徴、適応と禁忌、使用される状況を学ぶ。

- SB0 :
1. 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬を列挙できる。
  2. それぞれの薬の作用・副作用と禁忌を説明できる。
  3. それぞれの薬の麻酔時の使われ方をイメージできる。

5月15日	4	基本的なバイタルサインの意義とモニターの方法
-------	---	------------------------

G I O : バイタルサインとは何かを理解し、それをモニターする方法を理解する。

- SB0 :
1. バイタルサインを列挙できる。
  2. モニターの種類と方法を列挙できる。
  3. それぞれのモニターで得られる数値、状態を表記できる。
  4. それぞれのモニターで何を知らることができるかを説明できる。

5月17日	3	気管挿管・抜管、各種気道確保法
-------	---	-----------------

G I O : 気道確保の意義とその方法を学ぶ。

- SB0 :
1. 気道確保の意義を理解する。
  2. 各種気道確保の方法を理解する。
  3. 特殊な状態の気管挿管を理解する。
  4. 気管挿管の合併症および挿管困難症を理解する。
  5. 抜管の基準について理解する。

5月21日	1	救急症候とその対処1 (意識障害・頭痛など)
-------	---	------------------------

G I O : 救急医療における重要な症候 「意識障害」、「頭痛」について病態、鑑別診断を理解する。

- SB0 :
1. 意識障害の鑑別診断とその病態を理解し、critical diseaseを挙げることができる。
  2. 主訴としての「意識障害」と「意識消失・失神」の違いを正しく理解し、鑑別診断、対処法を知る。
  3. 頭痛発生のメカニズムを理解し、comon disease (片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛) と critical disease (くも膜下出血、髄膜炎) の診断、治療を理解する。

5月22日	4	救急症候とその対処2 (胸痛・腰背部痛など)
-------	---	------------------------

G I O : 致命的な胸痛、背部痛をきたす疾患を認識できるようになる。

- SB0 :
1. 心筋梗塞の救急症候と対処について理解する。
  2. 解離性大動脈瘤の救急症候と対処について理解する。
  3. 緊張性気胸の救急症候と対処について理解する。
  4. 肺動脈塞栓の救急症候と対処について理解する。

5月24日	3	救急症候とその対処3 (腹痛・嘔吐など)
-------	---	----------------------

G I O : 腹痛、嘔吐患者の病態生理、診察法、診断法、対処法につき理解する。

- SB0 :
1. 腹痛、嘔吐患者の病態生理を説明できる。
  2. 腹痛、嘔吐患者の診察法について説明できる。
  3. 腹痛、嘔吐患者の診断法について説明できる。
  4. 腹痛、嘔吐患者の症状軽減のための対処法について説明できる。

5月28日	1	救急症候とその対処4 (失神・不整脈など)
-------	---	-----------------------

G I O : 失神の原因を理解して、正しい対応について説明できる。

- SB0 :
1. 失神の定義を説明できる。
  2. 失神の原因として不整脈を考慮することができる。
  3. 失神のその他の原因を列挙できる。
  4. 失神に対する正しい対応を説明できる。

5月29日	4	救急症候とその対処5 (呼吸困難・喀血など)
-------	---	------------------------

G I O : 呼吸困難の原因と対応を学ぶ。

- SB0 :
1. 呼吸困難とは何かを説明できる。
  2. 呼吸困難の原因を挙げることができる。
  3. 喀血をきたす疾患の鑑別を挙げるができる。
  4. 喀血患者に対する治療を説明することができる。

5月31日	3	移植総論 (各論も含む)
-------	---	--------------

G I O : 臓器移植の概要と現状ならびに問題点を理解する。

- SB0 :
1. 世界及び日本における臓器移植の趨勢について説明できる。
  2. 臓器移植の目的、種類、方法について説明できる。
  3. 移植に伴う免疫反応を説明できる。
  4. 臓器移植に伴う、医学的ならびに社会的問題点を説明できる。

6月4日	1	循環動態、体液・電解質、酸一塩基平衡、血液ガス
------	---	-------------------------

G I O : 循環動態、体液・電解質、酸塩基平衡、血液ガスの基本事項を理解する。

- SB0 :
1. 循環不全の病型と治療方針、および循環作動薬の作用を説明できる。
  2. 体液の分布割合・電解質組成、輸液剤の種類と輸液の目的を説明できる。
  3. 酸素化と換気、および酸素解離曲線を説明できる。
  4. 酸塩基平衡異常と血液ガスの関係、および異常への対応を説明できる。
  5. 循環器系モニター、酸塩基平衡異常と血液ガスの正常値を言うことができる。

6月5日	4	急性呼吸不全
------	---	--------

G I O : 急性呼吸不全の分類、病態生理、その代表的な疾患の治療法を学ぶ。

- SB0 :
1. 急性呼吸不全の定義、病態生理に則った分類、原因検索の進め方を説明できる。
  2. 急性呼吸窮迫症候群 (ARDS)/急性肺障害 (ALI) の定義、病態生理、最新のエビデンスに則った治療を説明できる。
  3. 急性心不全、COPD急性増悪、肺炎の実際の治療を説明できる。

6月7日	3	敗血症、SIRS
------	---	----------

G I O : 敗血症とSIRSの包含関係、EGDTについて理解する。  
DICの病態を線溶系と凝固系の見地から理解する。

- SB0 :
1. 症例提示に対してSIRS項目の評価ができる。
  2. 敗血症性ショックの病態と治療について、EGDTにのっとった説明ができる。
  3. 基礎疾患によるDICの病態の違いを説明できる。

6月11日	1	多発外傷
-------	---	------

G I O : 多発外傷の特徴と治療法を理解する。

- SB0 :
1. 多発外傷の定義を説明できる。
  2. 多発外傷の特徴を説明できる。
  3. 多発外傷における治療優先順位について説明できる。
  4. 多発外傷が生体に及ぼす総体的影響を説明できる。

6月12日	4	区域麻酔（脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔、神経ブロック）
-------	---	-----------------------------

G I O : 各種区域麻酔の特徴、適応、利点・欠点、禁忌を学ぶ。

- SB0 :
1. 脊髄くも膜下麻酔と硬膜外麻酔について説明できる。
    - (1) 機序、適応、利点・欠点
    - (2) 手順
    - (3) 麻酔後に生体に生じる反応
    - (4) 禁忌と合併症
  2. 神経ブロックについて以下が説明できる。
    - (1) 代表的なものにはなにがあるか
    - (2) 機序、適応、利点・欠点
    - (3) 共通する手技
    - (4) 麻酔後に生体に生じる反応
    - (5) 禁忌と合併症
  3. 術後硬膜外鎮痛の特徴、適応、利点・欠点を概説できる。

6月14日	3	モニタリング、致死的不整脈
-------	---	---------------

G I O : 心電図モニターの読影ができ、致死的不整脈を判断できる。

- SB0 :
1. 心電図モニターの読影を理解する。
  2. 洞不全症候群の病態を理解する。
  3. 房室ブロックの鑑別ができ、病態を説明できる。
  4. 心室頻拍・心室細動の病態を説明できる。
  5. カルディオバージョンと電氣的除細動の違いを説明でき、施行時の注意点を理解する。

6月18日 1 産科麻酔、小児麻酔について

G I O : 産科麻酔、小児麻酔について学ぶ。

- SB0 :
1. 妊娠後期の生理学的変化
  2. 母体に投与された麻酔薬の胎盤通過性
  3. 帝王切開の麻酔
  4. 乳幼児の気道の特徴

6月19日 4 救急領域 感染症

G I O : 外傷に関連する致命的な感染症について理解する。

- SB0 :
1. 破傷風についての救急症候と対処について理解する。
  2. 狂犬病についての救急症候と対処について理解する。
  3. 壊死性筋膜炎についての救急症候と対処について理解する。
  4. 犬、ネコ咬創についての救急症候と対処について理解する。

6月21日 3 主な術後合併症、その予防法、悪性高熱

G I O : 主な麻酔合併症、その予防法と悪性高熱症について学ぶ。

- SB0 :
1. 術後の嘔気、嘔吐を発生させるおもな因子
  2. 麻酔覚醒遅延となる要因
  3. 術中覚醒となる要因
  4. 悪性高熱症の初発症状
  5. 悪性高熱症の治療

6月25日 1 顔面外傷1

G I O : 顔面軟部組織損傷について理解する。

- SB0 :
1. 顔面軟部組織の解剖を説明できる。
  2. 顔面軟部組織損傷の種類を説明できる。
  3. 顔面軟部組織損傷の診察ができる。

6月26日 4 顔面外傷2

G I O : 顔面骨骨折について理解する。

- SB0 :
1. 顔面骨および顔面軟部組織の解剖を説明できる。
  2. 顔面骨骨折の種類を説明できる。
  3. 顔面骨骨折の診察ができる。

6月28日 3 合併症（心・呼吸器・糖尿病など）患者の術前と周術期管理について

G I O : 冠動脈疾患、弁膜疾患、および呼吸器疾患の特徴を理解すると共に周術期の麻酔管理を学ぶ。

- SB0 :
1. 手術・麻酔が心血管系に与える影響を列挙できる。
  2. 手術・麻酔中の弁膜疾患の変化と共に、対応する麻酔管理の特徴を挙げることができる。
  3. 呼吸器疾患の特徴を理解し、対応する麻酔管理の特徴を挙げることができる。

7月2日	1	熱傷（広範囲熱傷）
------	---	-----------

G I O：広範囲熱傷を理解する。

- SB0：
1. 広範囲熱傷の重症度が判定できる。
  2. 広範囲熱傷の病態を理解する。
  3. 広範囲熱傷の初期治療を理解する。
  4. 広範囲熱傷の合併症を理解する。
  5. 特殊な熱傷について理解する。

7月3日	4	腹部の外傷1
------	---	--------

G I O：腹部外傷を理解する。

- SB0：
1. 外傷診断学の原則を説明できる。
  2. 緊急度、その指標を説明できる。
  3. 重症度、その指標を説明できる。
  4. 緊急度、重症度の高い疾患を挙げられる。

7月5日	3	腹部の外傷2
------	---	--------

G I O：腹部外傷における症状、診察法、診断法、治療法につき理解する。

- SB0：
1. 腹部外傷における臓器別の症状を説明できる。
  2. 腹部外傷における診察法を説明できる。
  3. 腹部外傷における診断法（主に画像検査）を説明できる。
  4. 腹部外傷における治療法（保存的療法、IVR、Damage control surgery等の手術療法）を説明できる。

7月9日	1	ショックと人工補助療法
------	---	-------------

G I O：ショックに対する治療法としての人工補助療法について理解する。

- SB0：
1. 各種ショックの重症病態を説明できる。
  2. 各種ショックの病態に応じた治療法を説明できる。
  3. 人工補助療法の種類と夫々の特徴を説明できる。
  4. 通常の薬物治療などの限界を超えた病態に対する人工補助療法の適応を説明できる。
  5. 個々の病態に応じた人工補助療法の選択について説明できる。

7月10日	4	麻酔中の事故と合併症
-------	---	------------

G I O：各麻酔中の合併症の特徴と対策を学ぶ。

- SB0：
1. 挿管困難症および気管挿管の合併症を説明できる。
  2. 急性大量出血時の特徴が説明できる。
  3. 気管支痙攣時の対策が説明できる。
  4. 高カリウム血症時の対策を挙げることができる。



7月12日	3	サイトカインなど
-------	---	----------

G I O : 重症病態におけるサイトカインの意義を理解する。

- SB0 :
1. サイトカインについて説明できる。
  2. 全身性炎症反応症候群 (S I R S) について説明できる。
  3. sepsis について説明できる。
  4. SIRS, sepsis およびサイトカインの関連について説明できる。

9月10日	1	ペインクリニック
-------	---	----------

G I O : ペインクリニックでの診療を理解し、痛みの治療の基本を学ぶ。

- SB0 :
1. 痛みの定義、伝導路を説明できる。
  2. 侵害受容性痛、神経障害性痛、身体表現性障害の特徴を概説できる。
  3. 急性痛と慢性痛を説明できる。
  4. 痛みの治療の目標を説明できる。
  5. 以下の痛みの治療法の基本を概説できる。
    - (1) 癌による痛み
    - (2) 侵害受容性痛
    - (3) 神経障害性痛
  6. 痛みの治療における神経ブロックの役割を説明できる。

9月10日	4	救急中毒
-------	---	------

G I O : 救急医療における中毒診療のあり方を理解する。

- SB0 :
1. 中毒診療の標準的診療を理解する。
  2. 代表的な中毒物質を理解する。
  3. 特殊な中毒について理解する。
  4. 中毒診療における特異的な身体所見を理解する。
  5. 中毒診療における特異的な検査所見を理解する。

9月13日	3	骨盤の外傷
-------	---	-------

G I O : 救急外傷としての骨盤部の外傷について学ぶ。

- SB0 :
1. 骨盤部裂離骨折について説明できる。
  2. 骨盤骨折の診断、分類、治療について説明できる。
  3. 寛骨臼骨折について説明できる。
  4. 骨盤骨折における合併症について説明できる。

9月20日	3	集中治療室の役割、人工呼吸管理総論
-------	---	-------------------

G I O : 集中治療室の役割を理解する。  
人工呼吸の基本とその適応を学ぶ。

- SB0 :
1. 集中治療室の入室基準を説明できる。
  2. 集中治療室の入室適応患者を説明できる。
  3. 集中治療室での治療・管理について、その適応を分類できる。
  4. 酸素療法を説明できる。
  5. 自発呼吸と対比し、人工呼吸の原理を概説できる。

9月27日	3	環境に起因した病態
-------	---	-----------

G I O : 人体が異常な環境に曝されたときに生じる身体症状の概略を理解する。

- SB0 :
1. 高気圧酸素療法の適応、意義、効果について説明できる。
  2. 熱中症の病態、診断、治療について説明できる。
  3. 偶発低体温症の病態、診断、治療について説明できる。
  4. 減圧症の病態、診断、治療について説明できる。
  5. 低酸素症（高所障害・高山病）の病態、診断、治療について説明できる。

10月1日	1	緊急手術時における周術期管理について
-------	---	--------------------

G I O : 緊急手術時における周術期管理の問題点を理解する。

- SB0 :
1. 緊急手術時における、患者の術前状態を説明できる。
  2. 緊急手術時における、麻酔方法の種類を説明できる。
  3. 緊急手術時における、全身麻酔の導入法を説明できる。
  4. 緊急手術時における、術中管理を説明できる。

10月1日	4	人工呼吸管理各論
-------	---	----------

G I O : 各種人工呼吸の特徴および問題点を学ぶ。

- SB0 :
1. 人工呼吸の種類と適応を説明できる。
  2. 各種人工呼吸の特徴を説明できる。
  3. 人工呼吸の問題点、合併症を説明できる。

10月4日	3	救急特有の重症病態（DIC、圧挫症候群）
-------	---	----------------------

G I O : ショックの概念を理解する。

- SB0 :
1. ショックの概念の変遷を説明できる。
  2. 最も新しいショックの概念を説明できる。
  3. ショックの新分類を説明できる。
  4. ショック新分類に従い、各々のショックの特徴を説明できる。
  5. 各種ショックの病態に応じた治療法を説明できる。

10月11日	3	救急薬品
--------	---	------

G I O : 救急領域で使用される薬剤の特徴と作用機序について理解する。

- SB0 :
1. カテコラミンの作用機序をふまえた使用方法を説明できる。
  2. 病状に適した薬剤投与量が判断できる。
  3. ACLSで使用される薬剤について説明できる。

10月15日	1	下肢の外傷
--------	---	-------

G I O : 下肢の外傷について学ぶ。

- SB0 :
1. 大腿骨脛骨骨折の合併症や治療を説明できる。
  2. 深部静脈血栓症の症状、治療や予防について説明できる。
  3. 開放骨折の評価、治療について説明できる。
  4. コンパートメント症候群について説明できる。

10月15日	4	上肢の外傷
--------	---	-------

G I O : 上肢外傷の代表的疾患と外傷のポイントを学ぶこと。

- SB0 :
1. 鎖骨骨折の好発部位を説明できる。
  2. 肩関節脱臼の新鮮例と反復例について説明できる。
  3. 腱板の構造と損傷について合併症を説明できる。
  4. 上腕骨骨折の部位の特徴と合併症を説明できる。
  5. 上腕骨顆上骨折、Galeazzi骨折、Monteggia骨折、橈骨遠位端骨折、舟状骨骨折について説明できる。

10月18日	3	脊柱の外傷
--------	---	-------

G I O : 脊椎の外傷のメカニズムとそれによる症状を理解し、治療法を説明できる。

- SB0 :
1. 脊椎のバイオメカニズムを理解する。
  2. 安定・不安定の説明ができる。
  3. 脊柱外傷の初期評価と初期治療の原則を理解する。
  4. 保存療法と手術療法の適応と内容を理解する。
  5. 頸椎・胸椎・腰椎の高位別の外傷を理解する。

10月22日	1	頭部外傷1
--------	---	-------

G I O : 救急領域における頭部外傷の基本を理解する。

- SB0 :
1. 多発外傷の中での頭部外傷の位置づけを説明できる。
  2. 重症頭部外傷の病態整理を説明できる。

10月22日	4	頭部外傷2
--------	---	-------

G I O : 救急領域における頭部外傷例の治療を理解する。

- SB0 :
1. 多発外傷の中での頭部外傷に対する管理を説明できる。
  2. 重症頭部外傷の病態整理から治療を選択し説明できる。

10月25日	3	四肢再接着・移植再建
--------	---	------------

G I O : 四肢再接着・移植再建治療の要点を説明できる。

- SB0 :
1. 切断四肢再接着の適応条件・搬送法を説明できる。
  2. 血管柄付き各種自家複合組織移植について説明できる。
  3. 感染性偽関節の治療について説明できる。
  4. 母指機能再建について説明できる。

10月29日	1	胸痛と緊急手術の適応
--------	---	------------

G I O : 胸痛をきたす緊急疾患の病態を理解し、緊急手術の適応と必要性を学ぶ。  
心臓疾患と大血管疾患に大別し、病態を説明できる。

- SB0 :
1. 急性心筋梗塞の手術適応を説明できる。
  2. 急性心筋梗塞後の合併症を説明できる。
  3. 急性大動脈解離を手術適応から分類できる。
  4. 急性大動脈解離の合併症を説明できる。
  5. 緊急胸部大動脈瘤手術の補助手段を理解できる。

10月29日	4	心血管外傷
--------	---	-------

G I O : 心臓大血管外傷の病態、診断、治療を理解する。

- SB0 :
1. 心大血管外傷の発生機転を説明できる。
  2. 心大血管外傷発生時の病態を説明できる。
  3. 心大血管外傷の診断方法を説明できる。
  4. 心大血管外傷の治療方法を説明できる。

11月1日	3	救急画像診断
-------	---	--------

G I O : 救急診療における画像診断の意義を理解する。

- SB0 :
1. 救急診療における画像診断の役割を述べられる。
  2. 救急診療における画像診断の方法とその特徴を述べられる。
  3. 救急診療における画像診断の適応を述べられる。
  4. 代表的救急疾患の画像所見を述べられる。

11月5日	1	災害医療
-------	---	------

G I O : 災害時における医療の役割を理解する。

- SB0 :
1. 災害の種類を理解する。
  2. 災害時における救急医療体制を理解する。
  3. 災害時における関係各機関との連携を理解する。
  4. 災害時における災害拠点病院やDMATの役割を理解する。
  5. 災害時におけるトリアージタグの使用方法を理解する。

11月5日	4	救急疾患IVR
-------	---	---------

G I O : 救急診療におけるIVRの役割を理解する。

- SB0 :
1. 救急疾患に対する代表的IVR手技が説明できる。
  2. 救急疾患に対する代表的IVR手技の適応が説明できる。
  3. 救急診療における画像診断の適応を述べられる。

11月8日	3	組織における酸素需要と供給
-------	---	---------------

G I O : 多臓器不全の定義と重症度の評価を理解する。  
血液浄化療法の原理を理解する。

- SB0 :
1. 多臓器不全を、APACHE II、SOFAなどを使用して評価できる。
  2. 病態に合わせて適切な血液浄化療法を選択できる。

11月12日	1	腎泌尿器の外傷
--------	---	---------

G I O : 腎泌尿器の外傷について学ぶ。

- SB0 :
1. 腎外傷の画像と分類について説明できる。
  2. 腎外傷の治療について説明できる。
  3. 下部尿路の外傷について画像診断と治療の概要を説明できる。

11月12日	4	精神科救急疾患
--------	---	---------

G I O : 精神科救急とは何かを理解し、重要な精神疾患を学ぶ。

- SB0 :
1. 精神科救急とは何かを説明できる。
  2. 精神科救急のシステムを理解する。
  3. 精神科救急における対応疾患を説明できる。

11月15日	3	耳鼻咽喉科の外傷
--------	---	----------

G I O : 顔面外傷、頭部外傷の講義で取り上げられなかった耳鼻咽喉科領域の外傷について理解する。

- SB0 :
1. 側頭骨骨折について説明できる。
  2. 外傷性中耳/内耳損傷について説明できる。
  3. 眼窩吹き抜け骨折について説明できる。
  4. 喉頭外傷について説明できる。

11月19日	1	小児科救急疾患
--------	---	---------

G I O : 各年齢毎に小児救急外来で多い疾患を学ぶ。

- SB0 :
1. 乳児期に多い救急疾患を説明できる。
  2. 幼児期に多い救急疾患を説明できる。
  3. 学童期に多い救急疾患を説明できる。
  4. 小児の心肺蘇生法の年齢毎の違いを説明できる。

11月19日	4	小児の外傷
--------	---	-------

G I O : 小児の外傷の特徴を理解する。

- SB0 :
1. 小児事故死の特徴を説明できる。
  2. 小児外傷の基本的診察法を理解する。
  3. 小児胸・腹部外傷の特徴を理解し、その画像を読影できる。
  4. 異物誤飲・誤嚥の対応を説明できる。
  5. 非虐待児症候群について説明できる。

11月26日	1	腹部救急（急性腹症）
--------	---	------------

G I O : 急性腹症の種類、診断、治療ができる。

- SB0 :
1. 内臓痛と体性痛を説明できる。
  2. 内臓痛と体性痛の特徴的な所見を説明できる。
  3. 治療を説明できる。

11月26日	4	国境なき医師団の経験
--------	---	------------

11月29日	3	災害時医療
--------	---	-------

G I O : 災害とは何かを知り、災害時において求められる医療を理解する。

- SB0 :
1. 災害医療と救急医療の違いを理解できる。
  2. DMATおよびその活動を理解ができる。
  3. 災害における救護活動の7要素を理解ができる。
  4. 災害に特有な疾病を理解ができる。

12月3日	1	産婦人科救急疾患
-------	---	----------

G I O : 産婦人科における救急疾患の特徴について理解する。

- SB0 :
1. 産科における典型的な救急疾患について説明できる。
  2. 婦人科における典型的な救急疾患について説明できる。
  3. 救急疾患の鑑別診断ができる。

12月3日	4	再生医療
-------	---	------

G I O : 再生医学とは何であるか、また実際に行われていることや今後期待される再生医療を理解する。

- SB0 :
1. 幹細胞の種類；脂肪、体性、胚性幹細胞が説明できる。
  2. 今後と実際の再生医療が説明できる。
  3. 人工多能性幹細胞（iPS cell）とは何かを理解できる。
  4. 中枢神経系における再生医療が説明できる。

12月6日	3	発熱のワークアップ
-------	---	-----------

G I O : 救急診療における発熱のワークアップを理解する。

- SB0 :
1. 発熱の鑑別疾患を挙げることができる。
  2. 発熱ワークアップのためにやるべきことを説明できる。

12月10日	1	低酸素血症の鑑別
--------	---	----------

G I O : 低酸素血症の認識と鑑別診断ができるようになる。

- SB0 :
1. 低酸素血症の定義を述べられる。
  2. 低酸素血症をきたす4つの病態生理学的機序を述べられる。
  3. 4つの病態生理学的機序にもとづき、鑑別診断を挙げることができる。

12月10日	4	忘れられない外傷/救急の経験 1
12月13日	3	忘れられない外傷/救急の経験 2
12月17日	1	忘れられない外傷/救急の経験 3
12月17日	4	予備日